

県北・日光ワイド



戻ってきて、待つてるよ



サケの稚魚を放流する黒羽小と川西小の児童

大田原 黒羽小、川西小の児童ら

那珂川にサケ稚魚放流

【大田原】黒羽小二年と川西小四年の児童約八十人はこのほど、黒羽向町の那珂川でサケの稚魚を放流した。

放流は、子どもたちに川に親しんでもらおうと、那珂川北部漁協の黒羽、川西支部が毎年行っている。児童らは、同漁協が育てた約六万匹をバケツに取り分け、川へ放した。

放流されたサケのうち、再び川に戻るの約3%。川西小四年の車田英紀君(10)は「少し帰って来ないのは残念だけど、『戻って来られるといいね』と思うながら放流しました」と話していた。

ディスクゴルフ 那須で技競う

【那須】ディスクゴルフ大会「NAAZU ディスクゴルフシリーズ」が十四、十五の両日、高久乙の那須高原TOWAビュアコネーJ常設コースなどで行われた。

初心者から上級者までが一緒に楽しめる大会として昨年スタートし、三回目。初日は同コース、二日目は福島県下郷町のコースで行われた。初日は県内外から二十七人が参加し、朝から雨と強風の悪天候の中、計二十七ホールでスコアを競った。

ディスクゴルフ歴二年という埼玉県川口市、会社員天田満美さん(30)は「埼玉県は常設コースがないので、ディスクゴルフ人口が増えることで近くにコースができるようになれば」と話した。



風雨の中、ゴールを狙う参加者



井前新部長に援助金を手渡す木多会長(左)

動報告会を開催した。同部は県北地域の失語症の人と家族の会と交流を続けており、二〇〇三年から同ソロプチミストの援助を受けている。

報告会には会員や部員など約三十人が出席。木多会長は「お年寄りなどと交流している若い皆さんの活動に

期待します」とあいさつし、新年度から部長を務める言語聴覚学科二年の井前俊亮さんに援助金を手渡した。

続いて学生たちが失語症友の会「那須ひまわり会」との交流会など本年度の活動を報告。言語聴覚士についても紹介した。

地蔵さんにほこら新設

【日光】ほ場整備に伴って撤去され、矢野口の県道脇に長期間放置されていた地蔵二体を祭るため、同所の自営業早川恒さん(70)が私費で建てたほこらが完成した。ほこらのある場所は田んぼだったが、早川さんが隣接する市道の一部とともに購入し整理した。真新しいほこらに安置された二体は、地域安全への願いを

がかりに由来などを調べたい考えた。早川さんは「交通安全や地域の見守りを兼ねたお地蔵さん。子どもたちにも親しんでもらえれば」と話している。

置21年
じ完成

ネパールの子供たちを愛

はこのほど、ネパールにある交り愛を